

令和8年2月6日

東浦町議会議長 鏡味昭史 様

こどもふくし委員長 大川晃

こどもふくし委員会 行政視察調査報告書

- 1 視察日 2026年1月15日(木)～16日(金)
- 2 視察先
- ★ 栃木県宇都宮市
 - 公立保育園の民営化
 - こども誰でも通園制度
 - ★ 茨城県つくば市
 - 貧困世帯の子育て支援『つくばこども青い羽根学習会』
 - 発達性ディスレクシア早期発見早期対応システム
- 3 視察者
- | | |
|-------|-------|
| 委員長 | 大川 晃 |
| 副委員長 | 赤川 操恵 |
| 委員 | 間瀬 宗則 |
| 委員 | 間瀬 元明 |
| 委員 | 杉下久仁子 |
| 議会事務局 | 伴 雄二 |
| 教育課 | 桑山 晃司 |
- 4 視察調査内容

日時	2026年1月15日(木) 14:00～15:30
視察先	栃木県宇都宮市
調査項目	1. 公立保育園の民営化 2. こども誰でも通園制度
調査内容	1. 公立保育園の民営化について 担当部署：子ども部 保育課 宇都宮市では、国の三位一体改革により公立保育所運営費が一般財源化されたことや、保育ニーズの多様化に対応するため、平成12年に「宇都宮市保育園整備方針・整備計画」を策定し、平成16年度から公立保育所の民営化を進めている。 民営化の目的は、民間事業者の機動性・柔軟性を活かした多様な保育サー

	<p>ビスの拡充と、行政運営の効率化である。</p> <p>市では公立保育所の役割を「セーフティネット機能」「ニーズ調整機能」「民間園の支援機能」と位置付け、将来にわたり存続させる基幹園を4園に限定し、それ以外は民営化または統廃合を行う方針としている。現在は16園が民営化されている。</p> <p>民営化の手法は「完全民営化方式」であり、民間移管型（現地建替）と民間誘導型（移転整備）の二つの手法があり、指定管理や業務委託ではなく、土地・建物を民間に譲渡または貸与して運営を移行する。応募資格は宇都宮市内で保育所を運営している事業者限定し、事業者選定では学識経験者等による審査を実施し、保護者説明や引継ぎ保育を丁寧に行うなど、円滑な移行に配慮している。</p> <p>直近事例である松原保育園では、民営化後も在園児のほとんどが継続利用し、保護者アンケートでは約9割が「満足」と回答するなど、大きな混乱なく移行できていることが確認できた。</p> <p>2. こども誰でも通園制度について</p> <p>担当部署：子ども部 保育課</p> <p>本制度は、保育所等に通っていない未就園児を対象に、保護者の就労要件に関係なく利用できる新たな通園支援制度である。子どもの発達支援と保護者の孤立防止を目的とし、国の制度設計に基づき段階的に実施され、対象児童の預かりだけでなく、未就学児を養育する家庭への相談支援も取り組んでいる。（すべて民間事業者）</p> <p>宇都宮市では令和5年度から1施設でモデル事業を開始し、令和7年度は市内5施設で試行実施、令和8年度からの給付制度による本格実施を見据えている。対象は生後6か月から満3歳未満の未就園児で、利用上限は月10時間、利用料は1時間300円である。</p> <p>利用家庭の約7割は専業主婦（夫）家庭であり、集団生活を通じた子どもの成長や保護者の負担軽減など、制度の効果は高く評価されている。一方で、支援が必要な家庭ほど利用につながりにくいこと、予約調整などの保育士の事務負担、補助金制度の不安定さなどが課題として挙げられた。</p> <p>市では母子保健部門との連携強化、減免制度の導入、国の総合支援システム活用などにより改善を図っている。</p>
所 感	<p>1. 公立保育園の民営化について</p> <p>➤ 令和8年4月から民営化に移行する東浦保育園では、民間誘導型で募集したところ応募はゼロで、民間移管型に変更し園舎を建替後に民営化する条件変更により事業者が見つかった。本町でも条件が合わな</p>

	<p>ければ民間事業者が見つからない可能性もあると感じました。また、宇都宮市内で実績のある業者に絞っていることも円滑に移行できている理由だと感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 保護者への説明会は事業者募集の前に1回、事業者決定後に市と事業者の合同説明会を2～3回程度行っており、在園か転園かを検討できるスケジュールの配慮も行っている点が、保護者への寄り添った対応と感じた。 ➤ 宇都宮市は平成11年度から民間活力の活用を進め、保育園整備方針・整備計画の策定を経て、平成16年から本格的に民営化を開始した。これまでに16園（令和8年4月1日予定の2園を含む）が民営化されている。 ➤ 民営化にあたっては、保護者向け説明会を複数回開催し、募集条件やスケジュールを丁寧に説明している。市と事業者による合同説明会では、保護者が転園を検討しやすいようスケジュール面での配慮も行われており、保護者の不安に寄り添う姿勢が感じられました。 <p>2. こども誰でも通園制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 対象の保育所等は5つの区域に1カ所ずつ設定し、一般型3園と余裕活用型2園で定員数は、3～8名となっている。本町も石浜保育園以外も検討する必要があると感じた。 ➤ また保育士の負担軽減対策で、預かり時間を事業者ごとの自由提案型で対応する点があり、本町でも柔軟な対応が必要になると感じた。 ➤ 宇都宮市では、令和5年度から「子ども誰でも通園制度」をモデル事業として開始し、市内1施設から段階的に取り組みを進めてきた。令和8年度の本格実施を見据え、計画的かつ着実に事業を推進している点が印象的でした。保護者からは、「子どもの成長を実感できた」「保育士から寝かしつけや食事の工夫について助言をもらえた」など、前向きな声が多く寄せられている。こうした意見から、子育て世代に寄り添い、実践的な支援を行う市の姿勢がうかがえました。さらに、令和7年には独自事業として、育児・健康に関する相談、親子遊びの紹介、地域の子育てサークルの支援・紹介などを行う「子育てサロン」を開設。対象は3歳までの子どもとその家族、さらには妊婦とその家族まで広がっており、安心して子育てができる環境づくりが進んでいると感じました。
--	---



日 時	2025年1月16日（金）10：00～12：00
視 察 先	茨城県つくば市
調 査 項 目	<ol style="list-style-type: none"> 1. 貧困世帯の子育て支援（つくばこども青い羽根学習会） 2. 発達性ディスレクシア早期発見早期対応システム
調 査 内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 貧困世帯の子育て支援（つくばこども青い羽根学習会） 担当部署：こども部こども未来センター つくば市では、貧困の連鎖を断ち切り、すべての子どもが夢と希望をもって成長できる社会の実現を目指し、2017年10月から「つくばこどもの青い羽根学習会」を実施している。本事業は、生活困窮者自立支援法に基づく学習支援事業として、また「第2期つくば市こども未来プラン（令和6年3月）」の教育の支援、重点項目の一つとして位置づけられ、市と民間団体が協働して運営する、無料の学習支援の場である。 対象は、市内の小学校・中学校・義務教育学校（小中一貫校）に在籍し、

生活保護または就学援助を受給している世帯の4～9年生である。学習会は、市内21か所（学校外拠点14か所、学校内拠点7か所）で、週1～2回無料で実施されており、NPOなど10団体が運営に携わっている。学習内容は、宿題のフォローや授業の復習・予習を中心に、中学生には受験対策や進路相談も行っている。令和6年度実績で391人が学習会に登録（令和7年3月現在の市内児童生徒数、小学校16,321人・中学校6,633人合計22,954人、就学援助費支給2,487人）。

学習会の特徴は、単なる学力向上にとどまらず、生活習慣の定着、社会性の育成、保護者支援まで含めた包括的な支援を行っている点にある。実際、利用者からは「不登校だった子が高校に合格できた」「テストの点数が上がった」「気軽に通える居場所になった」といった声が寄せられている。

また、本事業は「つくばこどもの青い羽根基金」と連動しており、2019年4月に創設されたこの基金には、企業や市民、団体からの寄附が活用されている。基金は、世代を超えた貧困の連鎖を断ち切ることを目的とし、学習支援や子どもの成長を支える事業に充てられている。

つくば市教育大綱の最上位目標は「一人ひとりが幸せな人生を送ること」であり、その実現のために“将来の貧困の予防”という視点が据えられている。教室の住所を非公開とし、電話申し込み後に案内する方式は、参加による不利益を避けるための配慮であり、「支援する側・される側」という上下関係を排した、横に寄り添う支援の姿勢が感じられました。

また、2019年4月には「つくばこどもの青い羽根基金」が創設され、企業・団体・個人からの寄附により子どもたちの学びを支える仕組みが整えられている点にも共感を覚えました。

2. 発達性ディスレクシア早期発見対応システム

担当部署：教育局学び推進課 特別支援教育推進室

つくば市では、「一人ひとりが幸せな人生を送る」ことを教育大綱の最上位目標に掲げ、特別な支援を必要とする子どもたちに対しても、「特別ではない当たり前の特別支援教育」「みんなが幸せになる特別支援教育」を目指し教育施策を進めている。

その中核となる取組が、発達性ディスレクシアなど読み書きに困難を抱える児童生徒を早期に発見し、適切な支援へつなげる「読み書き対応Tsukubaモデル」である。

読み書きの困難は外見から分かりにくく、努力不足や怠けと誤解されやすい特性である。そのため、本人の学習意欲や自己肯定感が低下し、不登校や学力格差につながるおそれがある。つくば市はこうした課題を重く受け

	<p>止め、就学前から中学校まで一貫して支援できる体制を構築した。</p> <p>このモデルの柱は三つである。第一に、就学時健康診断において「ひらがな10文字読み検査」を全員に実施すること。第二に、小学1年生および中学1年生を対象とした集団スクリーニングを行うこと。第三に、教員を対象とした特別支援教育研修（専門的教員養成）講座を継続的に実施し、支援の質を高めることである。</p> <p>スクリーニングは、年長児では就学時健診で実施し、小学1年生では6～7月に早期発見を目的として行う。その後、9月と1月に再度実施し、変化を確認する。中学1年生では7月に実施し、読み書きへの配慮が必要かを再確認し、受験時の合理的配慮へとつなげる。リスクが認められた場合は、個別検査や保護者面談を行い、適切な指導や学習環境の調整を進める。</p> <p>教員研修は、LD・ディスレクシア研究の専門家を講師に迎え、年間4回実施されている。</p>
所 感	<p>1. 貧困世帯の子育て支援（つくばこども青い羽根学習会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ つくば市の青い羽根学習会は、行政と地域、民間団体が一体となり、学習支援を通じて子どもの未来を支えるモデルであり、貧困世帯への支援を「教育からの自立支援」として体系的に展開している先進的な取組と感じました。 ➤ 周囲に知られたくない、との傾向がある対象の児童生徒が参加しやすいように場所は非公開にされ、案内文書も就学支援支給通知の中に同封する配慮がされている点が参加者に安心感を与えていると思われまます。本町でも必要とする児童生徒が一定数いると想定されるため、つくば市での取り組みも参考に検討してほしいと感じました。 ➤ 教室の住所を非公開とし、電話申し込み後に案内する方式は、参加による不利益を避けるための配慮であり、「支援する側・される側」という上下関係を排した、横に寄り添う支援の姿勢が感じられました。 ➤ また、2019年4月には「つくばこどもの青い羽根基金」が創設され、企業・団体・個人からの寄附により子どもたちの学びを支える仕組みが整えられている点にも共感を覚えました。 <p>2. 発達性ディスレクシア早期発見早期対応システム</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ つくば市の取組は、「読み書きが苦手な子」を特別視するのではなく、その特性を理解し、誰もが学びやすい環境を整えることで、すべての子どもが自分らしく学び続けられる学校づくりを実現するものであると感じた。また、子どもの発達支援と保護者の孤立防止を目的とし、国の制度設計に基づき段階的に実施されていると感じた。

	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 説明していただいた職員が「Tukuba モデルは医療的判断や選別ではなく教育的支援の位置づけで取り組んでいる」と何度も強調していました。 ➤ どの子ども学習意欲や自己肯定感をあげる当たり前の教育として、本町を始め全国に広がることを期待すると同時に、課題となっている支援のできる教員の育成・人材確保、保護者や周囲の人の理解を深める取り組みを今後も調査研究する必要があると感じました。 ➤ 生まれつき読み書きが困難な子どもが7～8%占めるといわれる中で、気づかれずに見逃されるケースが多くあるが、つくば市では「読み書き対応 Tsukuba モデル」の取り組みによって早期に発見し、専門的教員養成講座を受講して合格した教員によって、児童・生徒一人ひとりの特性にあった効果的な指導を行う体制が市全体でできていると感じた。 ➤ 今後は、発達性ディスレクシアに対する教員や保護者への理解を深める取り組み、専門的教員の養成講座開催について、現在実施されている長久手市や近隣市町の動向を注視しながら研究を深めていきたい。 ➤ 『読み書き対応 Tsukuba モデル』による10文字読み検査や集団スクリーニングは、医療的視点に偏りがちな支援を、教育現場からの合理的配慮として実施する点に特徴がある。 ➤ 読み書き困難といっても段階は多様であり、就学前から特性を把握することで、一人ひとりに応じた合理的配慮（板書の支援、音声教材の活用等）が自然に行われている点が印象的でした。
--	---

	
つくば市役所	つくば市議会 議場



つくば市役所 会議室



つくば市役所 会議室